

令和3年度

第3回 公立大学法人山形県立保健医療大学経営審議会 議事録

日時 令和3年10月5日（火）10時21分から11時07分まで

場所 201会議

出席者 前田理事長、渋江理事、遠藤理事、佐藤理事、内藤理事、武井理事、中山委員、島貫委員

事務局 齊藤事務局次長、柿崎教務学生課長、土田総務企画専門員、長谷部総務企画主査

1 開会

2 議事録署名人の指名

- ・審議会議長である前田理事長が、佐藤委員、中山委員を議事録署名人として指名した。

3 審議事項

(1) 理事長候補者の推薦について

- ・事務局から資料1により、理事長選考に関するこれまでの経過と、本日経営審議会から推薦する理事長候補者（2名以内）を決定いただきたいことが説明された。
- ・佐藤委員から、上月正博氏（東北大学大学院教授）を推薦したいとの提案がなされた。
- ・他に候補者を推薦する声はなく、上月氏を審議会から推薦することについて了承された。
- ・経営審議会から理事長候補者推薦書を提出する手続きについては、議長に一任された。

<質疑>

①上月氏はすばらしい方と聞いているが、学生には厳しいとの声があるがどうか。

→実際に指導を受けたことのある教員に聞いたところでは、確かに研究や学問に対する指導は熱心で厳しい面もあるが、いわゆるハラスメントのようなものではない。

4 報告事項

(1) 業務実績評価書及び財務諸表の承認について

- ・事務局から資料2-1により、令和2年度の業務実績については、自己評価でS評価とした項目の1つがA評価となったが、「年度計画に定めた実施項目は着実に実施されており、特に改善勧告を要する事項はない」と評価されたことが報告された。
- ・また、中期目標期間の業務実績については、「中期目標に定めた実施項目は、着実に達成しており、特に改善勧告を要する事項はない」と評価されたこと、自己評価のとおり評価されたことが報告された。
- ・資料2-2により、財務諸表については知事から承認を得られたことが報告された。

<質疑>

①リモート授業について、学生からマイナスの評価はなかったのか。

→教員も学生も慣れていないことから、準備期間を設けて丁寧に行ったことと、遠隔授業の期間が短かった（約1か月）こともあり、学生は思ったより受け入れてくれた。

②学業への影響はなかったか。

→座学をリモートで行い、演習・実習は後ろ倒しして対応した。リモートで行った演習でも、モデル患者を作成するなど教員が工夫して授業を行ったので、教育的なマイナスはなかったと考えている。

(2) 令和4年度入学者選抜試験の実施状況について

- ・事務局から資料3により、選抜試験の実施状況について報告された。

<質疑>

- ①本学の選抜ごとの偏差値はどの程度に設定しているのか。難しく設定して入れないのも困るし、やさしくして学力がついていけないのも問題だ。
→本学の偏差値については、ベネッセによれば53～54で、山形大学医学部看護学科より少し下となっている。選抜ごとの設定は、様々な要素が絡むのでこれからとなる。学生の県内出身校はほぼ固定化しているが、その中で成績上位の生徒が志望していると聞いている。
- ②合格者に関して、男女比の操作を行うことはあるのか、また動向はどうなっているのか。
→男女の合格に関する方針はなく、操作を行うことはない。男女の合格者数も毎年異なっており、看護学科は、男性が複数名の年もあれば1人の年もあり、理学療法学科は、年々女性の数が増えている。作業療法学科では以前から女性の割合が高い。

5 その他

6 閉会

※ 配付資料

- ・資料1 理事長選考について
理事長選考に係る公示文（令和3年9月14日）
公立大学法人山形県立保健医療大学理事長選考等規程
理事長候補者推薦書（理事長候補者の氏名及び略歴書（別紙1）及び理事長候補者の推薦理由（別紙2）並びに理事長候補者の推薦者名簿（別紙3）を含む。）（公立大学法人山形県立保健医療大学理事長の選考に関する細則様式第1号）
- ・資料2-1 公立大学法人山形県立保健医療大学の令和2年度及び中期目標期間業務実績評価書について
- ・資料2-2 令和2年度公立大学法人山形県立保健医療大学財務諸表の承認について
- ・資料3 令和4年度山形県立保健医療大学選抜試験実施状況
- ・令和4年度入学者選抜要項
- ・大学案内2022
- ・大学院案内2022

以上

議事録署名人

.....
.....

議長

.....